

豊中市告示第35号

豊中市公共下水道事業業務状況の公表

豊中市水道事業及び公共下水道事業の設置等に関する条例（昭和41年豊中市条例第46号）第8条の規定による平成30年10月1日から平成31年3月31日までの業務状況を、次のとおり地方公営企業法（昭和27年法律第292号）第40条の2の規定に基づき公表します。

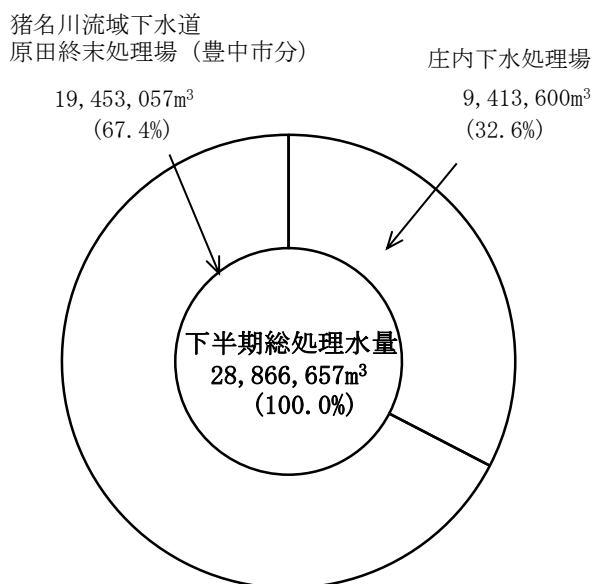
令和元年6月1日

豊中市長 長内 繁樹

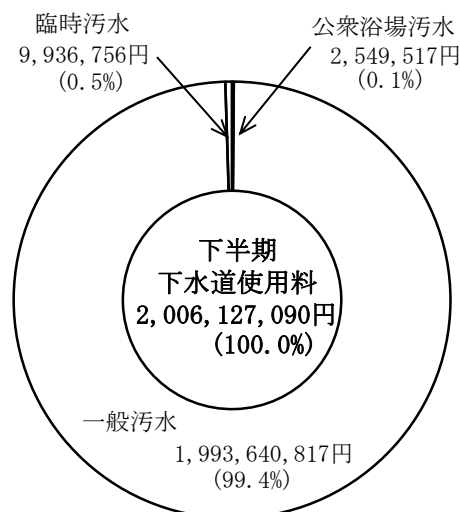
平成31年（2019年）3月31日 現在

排水人口	398,452人
処理可能区域人口	398,452人
処理可能区域戸数	175,421戸
年間総処理水量	66,426,178 m ³
一日平均処理水量	181,990 m ³

下半期総処理水量とその区分



下半期下水道使用料収入



平成30年度(2018年度) 下半期予算の執行状況 (消費税及び地方消費税込み)

収益的収支

収入 7,022,705,822 円 13,586,843,364 円

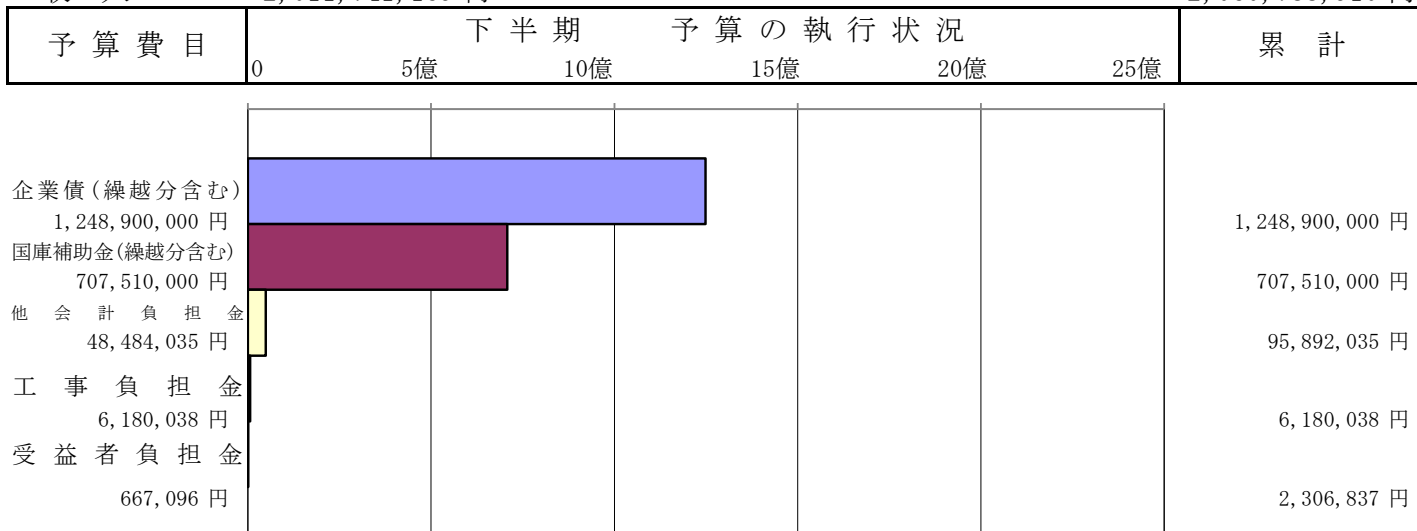
予 算 費 目	下 半 期 予 算 の 執 行 状 況										累 計	
	0	5億	10億	15億	20億	25億	30億	35億	40億	45億		50億
営 業 収 益	下水道使用料 2,006,127,090 円											4,001,515,391 円
	雨水処理負担金 1,285,275,500 円											2,568,551,000 円
	流域下水道原田終末処理場 受託管理負担金収入 1,164,446,133 円											2,617,598,869 円
	流域下水道終末処理場 建設受託事業収入(繰越分含む) 1,349,315,058 円											1,868,916,058 円
	空港滞留施設受託 管理負担金収入 10,338,901 円											10,338,901 円
	手数料収益 455,500 円											1,415,800 円
	その他営業収益 716,536 円											716,536 円
営 業 外 収 益	受取利息 2,403,061 円											2,406,897 円
	国庫補助金 51,000,000 円											51,000,000 円
	他会計補助金 179,060,003 円											514,195,723 円
	長期前受金戻入 970,530,359 円											1,941,060,718 円
	雑収益 3,037,681 円											9,127,471 円

支出 8,016,042,078 円 12,642,661,451 円

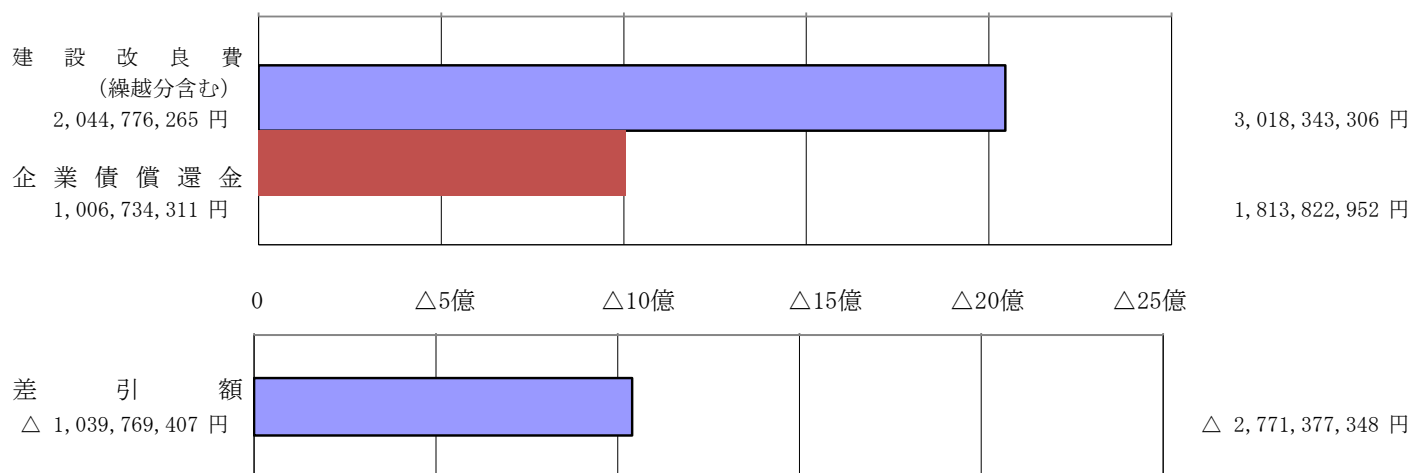
予 算 費 目	下 半 期 予 算 の 執 行 状 況										累 計	
	0	5億	10億	15億	20億	25億	30億	35億	40億	45億		50億
営 業 費 用	職員給与費 660,057,313 円											1,052,419,593 円 (うち退職給付費) 108,016,246円
	減価償却費 2,048,968,818 円											4,098,842,695 円
	その他(繰越分含む) 4,781,013,147 円											6,629,636,617 円
	支払利息及び企業債取扱諸費 267,176,957 円											478,835,720 円
営 業 外 費 用	庄内温水プール跡地整備事業費 252,728,420 円											374,912,873 円
	消費税及び地方消費税 3,823,900 円											3,823,900 円
	雑支出 2,273,523 円											4,190,053 円
差引額 △ 993,336,256 円											944,181,913 円	

資本的収支

収入 2,011,741,169 円 2,060,788,910 円

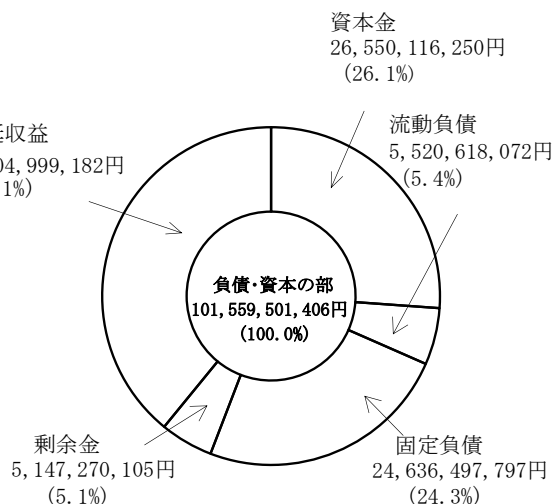
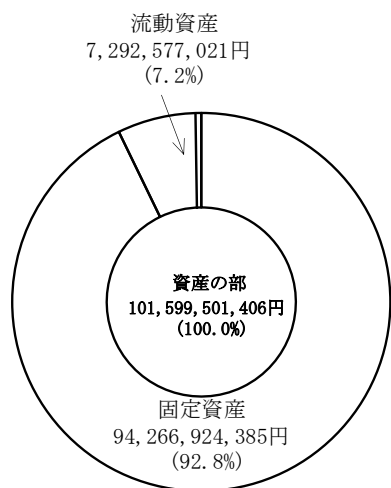


支出 3,051,510,576 円 4,832,166,258 円



貸借対照表(消費税及び地方消費税抜き)

[平成31年(2019年)3月31日現在]



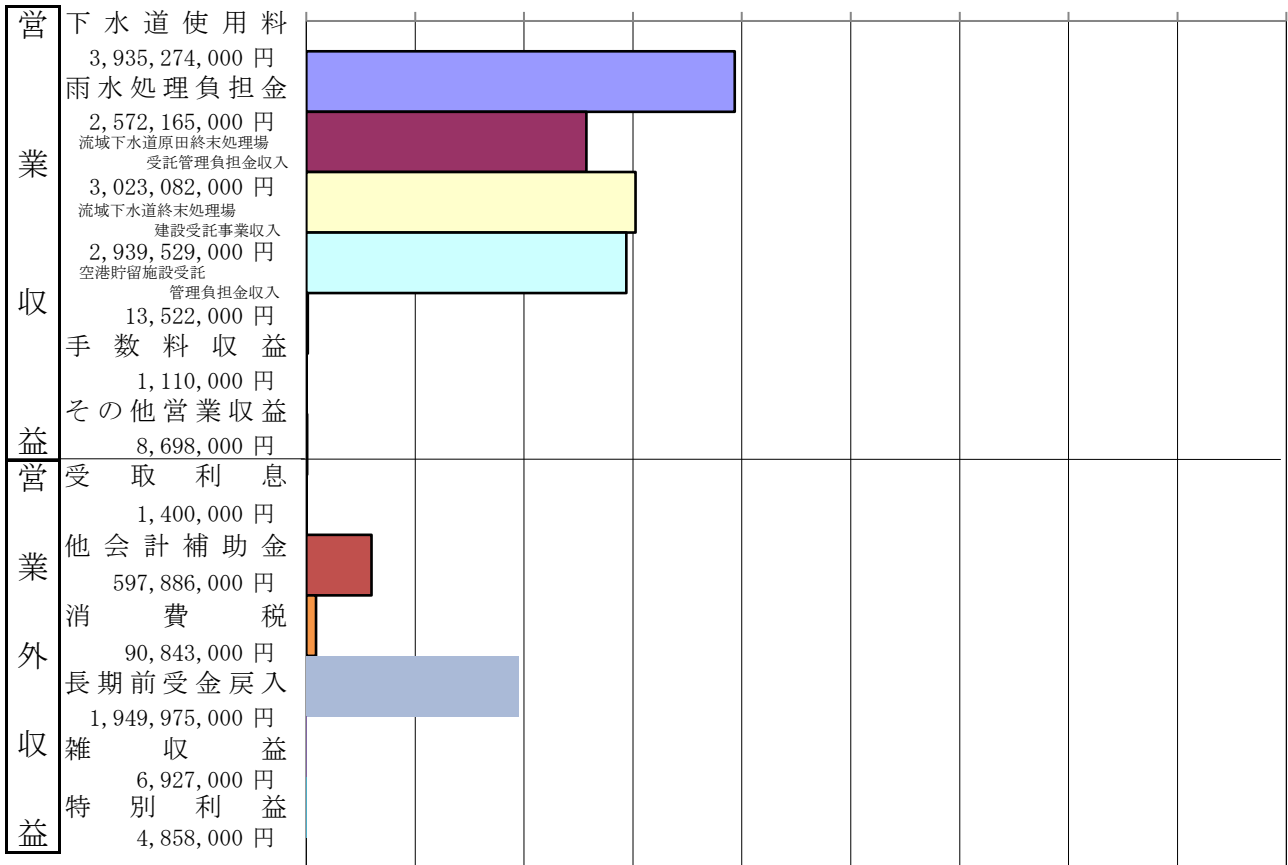
企業債現在高 26,086,796,631 円
一時借入金現在高 0 円

令和元年度(2019年度) 予算の状況 (消費税及び地方消費税込み)

収益的収支

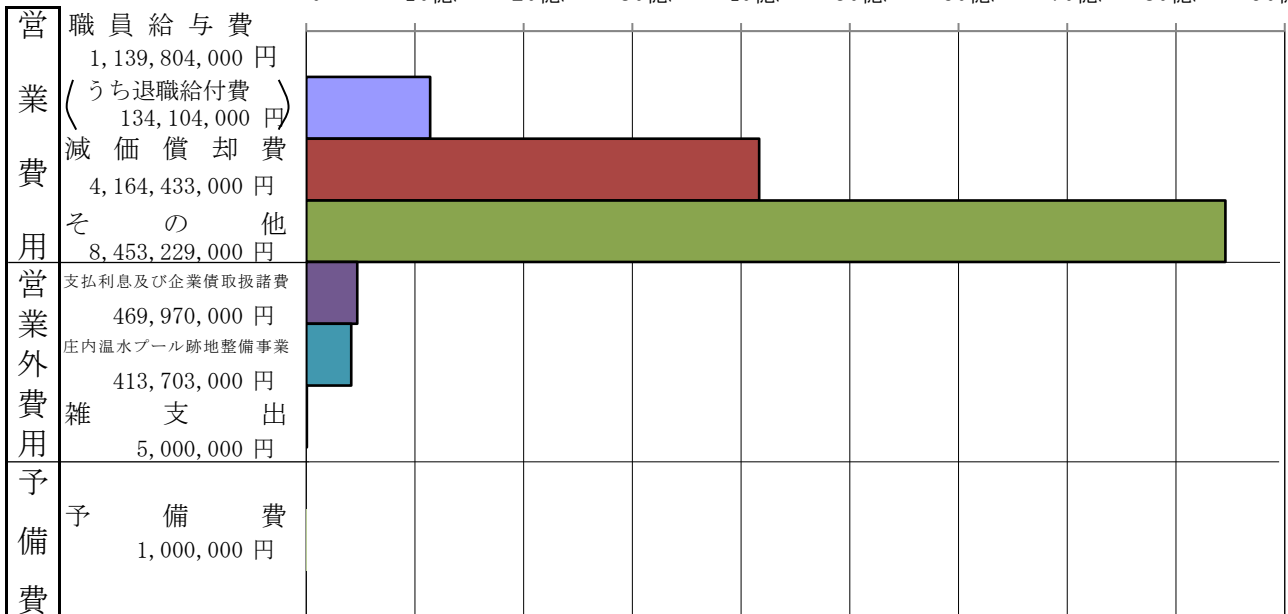
収入 15,145,269,000 円

0 10億 20億 30億 40億 50億 60億 70億 80億 90億



支出 14,647,139,000 円

0 10億 20億 30億 40億 50億 60億 70億 80億 90億



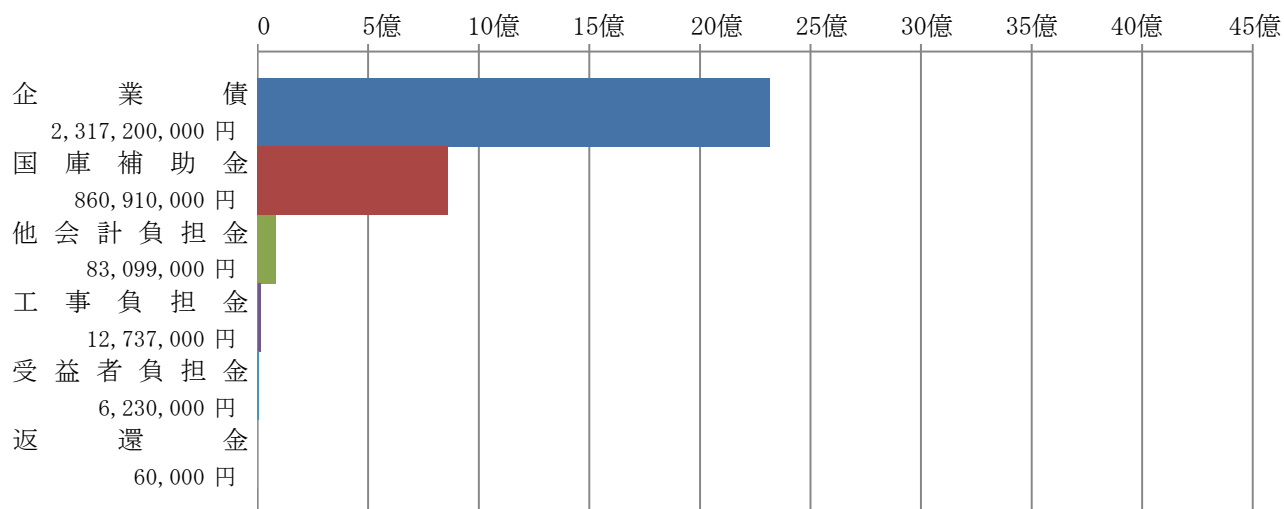
差引額 498,130,000 円

0 10億 20億 30億 40億 50億 60億 70億 80億 90億

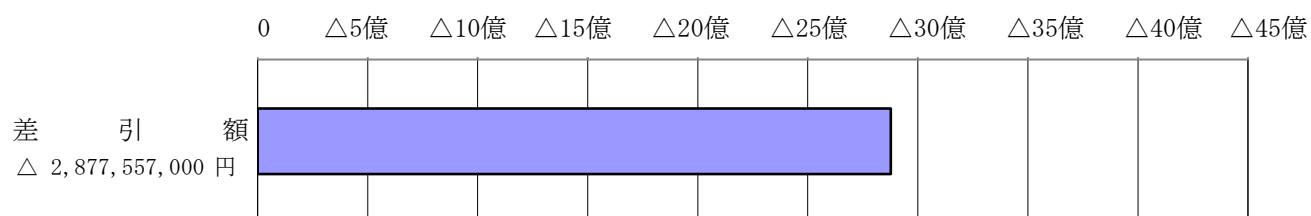
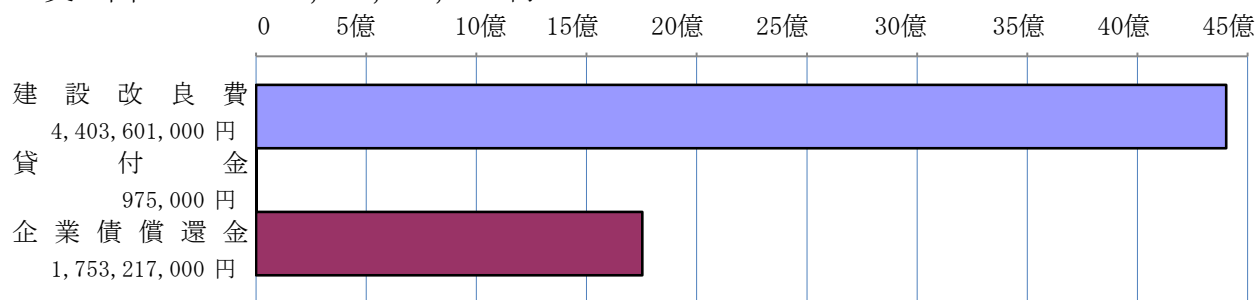


資本的収支

収入 3,280,236,000 円



支出 6,157,793,000 円



令和元年度 経営方針

平成 30 年 2 月に策定した「第 2 次とよなか水未来構想」に掲げた 6 つの目指すべき将来像を実現していくため、「実行計画」を推進していくとともに、引き続き効率的な事業運営を推進しながら、資金の確保に努めていきます。

＜水道事業会計＞

平成 29 年度決算は、純利益を確保することができ、資金剰余額は 2,723,920 千円でした。

平成 30 年度決算も、672,318 千円の純利益を確保することができ、資金剰余額は、平成 29 年度から 130,885 千円増の 2,854,805 千円です。

しかし、有収水量及び給水収益は、対前年度比でそれぞれ 156,063 m³の減、51,354 千円の減となり、収益の根幹となる給水収益は引き続き減少傾向となっています。

今後、施設の更新費用が必要となる中、限られた財源を計画的かつ効率的に活用し、管路の更新、管路の耐震化、野畑配水池の耐震化など、安定給水を確保していくための事業を着実に進めます。

＜下水道事業会計＞

平成 29 年度決算は、純利益を確保することができ、資金剰余額は 2,967,747 千円でした。

平成 30 年度決算も、734,565 千円の純利益を確保することができ、資金剰余額は、平成 29 年度から 332,909 千円増の 3,300,656 千円です。

しかし、有収水量及び下水道使用料は、対前年度比でそれぞれ 119,837 m³の減、33,944 千円の減となり、水道事業会計と同様に、引き続き減少傾向となっています。

今後、施設の更新費用が必要となる中、限られた財源を計画的かつ効率的に活用し、浸水対策、老朽化した管路の改築更新、処理場・ポンプ場の長寿命化など、事業を着実に進めます。

また、事業を執行するうえで必要な財源である国の交付金の確保を要望していきます。